婦人世界の蘇峰先生の重輯、かねて蘇翁の
例とから嘗には聞いてゐましたが初めて拝読して
感服は勿論文と讃嘆致しました。老翁の解説も
至極結構なれど希くは今ねはずして白老いらくと
いふことは文字の上でも気持の上でも厭めて頂き
たく恋愛はすべて新鮮ですす頑蘇翁にして
猶且つ恋り沒んや我曹に於ておや人間は青
春をいつ迄持ち続けるかといふことを考へませう。
過日宮崎さんの門人で内山猶さんといふ変った人が
訪ねて参りましたせつかく訪問録を持って参りましたが
今日は直しに来ました七人横浜の矣糸師であります

芳信拝誦寒中お障も甚く大慶
奉存上候小生も相変らず愚稿従事
在四時に候昨晩来の降雪今日は白皚
皚去年棹尾の光景を思ひ出候
少しく春暖を俟て一度当地へ来遊
如何先月末は吉井大人来遊大佛二郎君
と三人で會飲いたしたり
春寒猶きびしくも自愛専一